

## 横須賀法律行政専門学校

### 学校関係者評価委員による学校評価および指摘事項について（報告）

横須賀法律行政専門学校の学校評価について、横須賀商工会議所、特定非営利活動法人および卒業生代表（横浜市技能職員）の3名の方に、令和2年度から学校関係者評価委員をお願いし、教職員4名による令和元年度の学校評価（自己評価）結果をもとに、ご意見をいただきました。

本来ですと、学校関係者評価委員会を開催し意見を求めるところ、令和2年度は新型コロナウイルス感染の拡大防止のため、各委員に自己評価結果のご報告をしたうえで個別にヒヤリングをいたしました。いただいたご意見およびご指摘事項は以下の通りです。

#### 1. 学校運営について

- ・「学生および文書・備品等を守る防犯対策の整備」「教職員の防犯に対する認識の徹底」など防犯対策で自己評価の低い項目については、早急に対処すべきである。
- ・個人情報の保護の「教育活動に関する情報公開」も十分に行われていない点についても、早急に対処をすべきである。例えば、学生の表現力強化の一環として、学生自身が学生目線で教育活動の様子を動画にまとめ、公開するのによいというご意見をいただいた。

#### 2. 教育活動・学生支援について

- ・社会人として最も必要なスキルは、コミュニケーション力である。そのスキルを身につけるためには教育活動で様々な工夫を講じてほしい。例えば、就職のための面接指導において、形式的な質問に答えるだけのトレーニングではなく、働くうえで上司や同僚と意見を交わらせるようなコミュニケーション力を身につけられるよう、質問の出し方や回答のまとめ方等を工夫するのも効果がある。
- ・外部講師や企業人を招いて、講演を聴くだけでなく、ディスカッションすることでコミュニケーション力の向上につながり、学生同士、学生と教職員の間でもディスカッションする時間を増やすことで効果が期待できるというアドバイスをいただいた。
- ・課題や指示に対して、どうすればよいかを訪ねる前に、自らの考えを提示したうえで、相手の意見や考えを参考に、何をすべきが自ら判断できる力を身につけてほしい。そのための教育活動に対して、様々な方向からのアプローチを考えた方がよい。
- ・プレゼンテーションのアプリケーションソフト（PowerPoint）が操作できるだけでなく、自らの考えを整理し、簡潔にまとめ、表現し提案する道具として、情報技術（IT）を活用できる能力は、社会人として必要なスキルである。
- ・情報技術（IT）を活用するためには、ネットワークの仕組みや情報セキュリティ等、机上の講義だけでなく、実践現場に沿った教材開発が必要である。
- ・職種によって持っている有効な資格・免許は、学生時代に取得しておいた方がよい。そのためには、就職を希望する業種や職種を早い時期に見つけ目標を明確にし、その業種や職種について調査し、業界人講話等で積極的に質問することで理解を深め、その資格・免許取得の必要性を認識することが大切である。
- ・少人数制で個別指導が多く、クラス単位や全学生で取り組む活動がほとんどないので、グループやチームで取り組める教育活動の力を入れてほしい。

以上